

自然ふれあいウォーク 平塚ゆるぎの里を歩いてきました。

平成28年5月12日(木) 晴れ

ゆるぎの里は平塚市の西部に位置し、豊かな里地里山が残っている地区です。ゆるぎの由来については「余呂伎(よろき)」「こよろき」と古くは歌集では詠まれましたが、その後「こゆるぎ」と詠まれており、ゆるぎ地区一帯も「こゆるぎ地区」といった方が正しいとする地元の方もいるそうです。

池あり滝ありの散策路の景観が素晴らしく私達が訪れた日は大山丹沢山系から富士山まで望めました。



山野の林内に生える多年草、茎は高さ80cm内外で中空。地下にジャガイモ状の塊茎がある無葉ラン オノノヤガラ

- 1、 白い花が多くなりました。ノイバラ、コゴメウツギ、スイカズラなど。



コバノタツナミ(シソ科)
なぜか西部丘陵地に
普通。その他は稀だそうです。
(ひらつか野の花)より

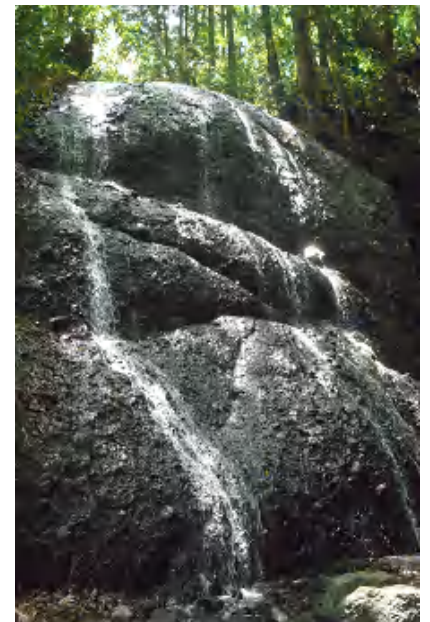


オドリコソウ(シソ科)
花の形が笠をかぶって
踊る人に似ているので
踊子草

- 2、 中吉沢の池でカワセミを見つける。サンコウチョウの鳴き声も聞きました。



- 3、 吉沢公民館裏手のコンクリート壁はムクドリとスズメのマンション。ひなの餌を親鳥たちがピストン輸送、その様子をカラスがじっと見ていました。



霧降の滝

参加者の声 ・植物の観察をしたり野鳥の鳴き声を聞いたりできて楽しかったです。
・霧降の滝(15m位)を川床から見上げたり思いがけないコースで楽しかった。

参加人数 14名 + GI: 7名 + 実習生3名 合計24名